

SLP同期の実行

内容

外部のお客様/パートナー様専用：これらの手順は、お客様/パートナー様自身が問題を解決するために次のアクションを実行する際に役立ちます。お客様やパートナーが指示に従って問題を解決する場合は、ライセンスサポート(<https://www.cisco.com/go/scm>)でサービスリクエストをオープンしてもらってください。ライセンスサポートチーム以外のシスコの社内リソースの場合は、これらのアクションを自分で実行しないでください。

Q:SLP同期はどのように設定するのですか。

A: SLP同期オプションはLicensing Workspaceにあります。ネットワーク同期または手動同期を選択できます。

- ネットワーク同期：

手順1:SSMをオンプレミスで開きます。

ステップ2:Licensing Workspace > Smart Licensing > Reports > Usage Schedulesの順に移動します。

ステップ3：即時SLP同期をトリガーするか、または定期的な時間間隔を設定します。

- SLPの即時同期をトリガーするには、[今すぐシスコと同期する]をクリックします。
- SLP同期を定期的にスケジュールするには、次の手順に従います。
 - a. Days (頻度) を設定します。
 - b.時刻 (時間と分) を設定します。
 - c. Saveをクリックします。

- 手動同期：

手順1:SSMをオンプレミスで開きます。

ステップ2:Licensing Workspace > Smart Licensing > Inventory > SL Using Policy > Export/Import All > Export Usage to Ciscoの順に移動します。

ステップ3：ファイルをダウンロードします。

ステップ4:<https://software.cisco.com/>からCSSMクラウドにアクセスします。

ステップ5：正しいスマートアカウント>ライセンスの管理>レポート>使用状況データファイル>使用状況データのアップロードを選択し、SSMオンプレミスアプリケーションからダウンロードした使用状況ファイルをアップロードします。CSSM Cloudがファイル进行处理し、ダウンロードする応答ファイルを要求します。

ステップ6:CSSMクラウドから応答ファイルをダウンロードします。

ステップ7:<https://<ip-address of SSM On-Prem>>を使用して、SSMオンプレミスアプリケーション

ンにアクセスします。

ステップ8:Licensing Workspace > Smart Licensing > Inventory > SL Using Policy > Export/Import All > Import from Ciscoに移動し、CSSM Cloudからダウンロードしたレスポンスファイルをアップロードします。

Q: SLP同期が完了したかどうかはどうすればわかりますか。

A: [Licensing Workspace] > [Smart Licensing] > [Inventory] > [SL Using Policy]に移動すると、[Alerts]列のあるテーブルが表示されます。アラート列には、デバイス、SSMオンプレミス、およびCSSMクラウド間のSLP同期ステータスに関する情報が表示されます。ここで、この表のLast Contact(LAC)タイムスタンプは、デバイスとSSMオンプレミスアプリケーション間の最後の通信であることを注意してください。

トラブルシューティング：

このプロセスで対処できない問題が発生した場合は、ソフトウェアライセンスオプションを使用して、[Support Case Manager\(SCM\)](#)でライセンスケースをオープンしてください。

このドキュメントの内容に関するご意見は、[ここ](#)から送信してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。